

洋書輸入協会会報

VOL. 12

NO. 11

(通巻 139 号) 昭和 53 年 11 月

理 事 会 報 告

9 月 26 日 (火)

(一) 9 月 20 日付け各紙朝刊で報道された公正取引委員会の諮問機関である独占禁止懇話会(脇村義太郎会長)への同委員会の報告について。新聞報道ではよくわからないので、同委員会を訪問することが提案され、可決された。

(二) 通関委員会から、本年 3 月の外国貿易管理令の一部改正の結果、100 万円以上の前払い年間予約雑誌は標準外決済事前許可を得なければならなくなった旨が報告され、関係当局に実情に適した方法をとれるよう陳情することとなった。

(三) 鈴木常夫氏(三洋出版貿易)から化学情報協会会長加藤弁三郎との会見について報告があった。

(四) ダイレクトリイ委員会から、製作費の上昇に伴い、ダイレクトリイの広告料および定価をあげざるをえないことが提案され、承認された。また外国出版社への英文広告依頼書が近日中にできあがるので、各理事に協力が要請された。また次号から各社のスペシャリティを掲載することが提案され、承認されたが、同委員会で原案を作製することとなった。

(五) 日本出版貿易の村山俊男氏が病氣入院中なので、理

事会として見舞うこととなった。

10 月 4 日 (火)

福田忠、大野俊、柴田三夫(以上丸善)、鈴木常夫(三洋出版貿易)、栗原光輝(洋販)、一條元美(極東書店)の各氏が公正取引委員会を訪問し、9 月 20 日付け各紙朝刊の報道について懇談した。闇カルテル以外には公正取引委員会としてはまったく関与しないとのことであった。

10 月 11 日 (水)

(一) 9 月分収支計算・予算対比表について総務委員会から報告があり、承認された。

(二) ダイレクトリイ委員会から、前回の理事会で承認された各社のスペシャリティ掲載について、20 語以内の英文で説明するとの案が示された。検討の結果承認されたが、必要な場合には同委員会で調整することとなった。(10 月 11 日付け JBIA No299 を参照のこと)

(三) 10 月 4 日の公正取引委員会との話しあいについて報告された。

(四) 通関委員会から、100 万円以上の前払い年間予約雑誌の標準外決済事前許可制の問題で各関係当局へ陳情した結果、除外あるいは特例は認められなかったという報告があった。(10 月 12 日付け JBIA No301 を参照のこと。)

理事会報告…………… 1	山小屋のジュース…………… 3	事務所移転のお知らせ…………… 5
洋書交換委員会だより…………… 2	来日外人名簿…………… 5	総代理店ご案内…………… 5
文化厚生委員会だより…………… 3	通関統計…………… 5	広告 ハーパー アンド ロー出版社…………… 6

第 10 回 洋 書 ま つ り

まず何と沢山のお客だったでしょう。まあ、何と沢山の売り上げ点数だったでしょう。歴戦10回の勇士達も今回は少し混乱いたしました。今の人数ではもうちょっとさばききれないのではないのでしょうか。13.5秒に一点ずつの書籍が売れてゆくわけです。売上金額にして昨年より28%、点数にして13%、1点当り単価にして13%、各々アップという成績です。計算し終っていきさが驚きました。又、いきさかあきました。まずは来ていただいたお客様、出品された会員、委員各位、又、ニュースを流してくれたマスコミの方々、皆様有難うございました。

実は出品店数は今回が一番少なかったのです。陳列台も昨年より2台少なかった。最初はちょっとどの位いくかと思っていたのです。それが開場前すでに行列。記事にした新聞を手を持っている人達。流れが一向に止らないのです。お昼にはラジオの情報——唯今、神田の洋書まつりの現場にいるんです。——夕刻にはカメラを手にした新聞記者、それで又土曜日にも人の流れがおちません。昨年度からダイレクトメールを切りかえて新聞広告にしたので、マスコミの目にふれる様になったのでしょうか。

例によって、最後の最後、“もうおしまいです。”“閉会させていただきます”を連呼しても、なおなごりおしそうにごろんになっている方も多いのです。洋書まつりは我々の知っているお客の範囲内からついに人々の集まる広場へと流れ出たのでしょうか。洋書輸入協会の名前が、よ

い意味で人々の頭の隅におちつきだしたのではないのでしょうか。明日も明後日も、その輪は広がっていつてくれるのでしょうか。

お願いいたします。来年はもっと多くの会員の参加を望みます。途中で参加を止めた方、最初から参加していない方々にびかけます。来年はもっと多くのお客が来ます。それに答えるのが洋書業者の仕事の一つではないのでしょうか。洋書輸入協会の仕事の一つではないのでしょうか。実際、この仕事は事務的には可成り完成していますが、多くの労力を必要とします。しかし、遠くから集まって下さって、楽しそうに本をのぞきこんでいる沢山の人々の顔を見ていると、単なる商売というより、何か“いい事”をしている様な気分になるのです。年に一回位協会総ぐるみで“いい事”をしてみてもいいじゃありませんか。商品がもっと沢山集まれば、又ニュースにもなりますし、お客さんもふえます。来年を楽しみにまわってくださるお客にも応えられます。協会の存在がプラスの面につながってゆきます。

昨年も書きましたように、我々は最初の時から10歳年齢をとったわけです。いきさかくたびれました。しかし、なお元気をふるいおこして、真赤なジャケットを着たTBSの可愛いお嬢さんアナウンサーの言葉を皆さんにおつたえしたいと思います。

“さようなら。又、来年もよろしく願います。”

(洋書交換委員会 服部記)

大正パワーの爆発——第18回72会ゴルフコンペ

前日よりの雨が朝まで残り、雨の中の死闘となるかと思われたが、スタート前にはピタリとやみ、スタート1時間前に駆けつけた佐々木小次郎組やスタート直前にすべりこんだ宮本武蔵組総勢13人、ヤジの飛び交う中を童心に帰った取らぬタヌキよろしく元気に白球を追い始めた。

この湘南カントリークラブは名門コースにふさわしい風格のあるコースで、さすが天下の三菱グループ肝入りであることもうなづける。

昭和53年9月28日、於湘南カントリークラブ

例によっていつもお元気な会長の山川さんにひっぱり、1.5ラウンドストロークプレーの結果

1位	渡辺氏(トッパン)	G146 H45 N101
2位	片倉氏(EBS)	G146 H34.5 N111.5
3位	市川氏(BFJ)	G133 H19.5 N113.5

となり、大正パワーの前に昭和一桁、二桁が脱帽することとなった。

参加者の記憶に残る大会であった。

(Y.I.)

山小屋のジュース

洋販副社長 栗原光輝

このところ、また、やたらと洋書の価格について、マスコミがとり上げている。

銀座の洋品店のショウ・ウィンドに素敵なネクタイが飾ってある。相当な値段である。ドアを押して中にはいり、ご主人をつかまえて、「貴方のところのネクタイは、一寸高いんじゃないですか？原価の構成を教えてください。」と質問する勇気のある新聞記者があるだろうか。勇気のある無し、よりも前に、それは失礼なことだ、と思うはずである。

ところが、洋書を扱っている我々に対しては、実に無遠慮に、「原価はどうなっていますか」「高すぎる」と平気で詰問をされる。大変不愉快である。

原産国のカバー・プライスが表紙に印刷してあるという特殊性のために、為替の変動のたびに、俎上にのぼって、弱いものいじめをされる。

先日、経済部の記者殿が、おふたりで約2時間、たっぷりインタビューにみえたが、帰り間近に、「洋書業者として、何をお望みですか」と質問されたので、「グラ

インダーで、カバー・プライスを削り落したい。」と答えた。

洋書業者も、商人であり、貿易商である。外国から仕入れた商品に、種々の経費を考えて、日本での売り値を決めて、売っている。書籍は余りに多品種なので、一点一点の計算が困難なことで、読者にも不便であろうから、ということで、長年の経験に基づいて、これ以外に便宜な処理方法がないので、平均した数値をカバー・プライスに掛けて、それぞれの業者レートで売っている。

為替相場との差を、マーク・アップと特別視されるのは、大変迷惑な話である。

今年8月のある新聞は「まか不思議なマーク・アップ」という見出しで、「業者は外国出版社よりのマージン内で経営すべきである」という記事があった。随分、頭の悪い言いがかりである。

昭和25年から6年前まで固定相場で、1ドルが¥360のとき、¥400で¥40の上乗せであったものが、ドル¥200の相場で、¥280のブック・レートとの差が¥80。なるほ

ど2倍ではあるが、28年間の経費の増加率を考えれば、むしろ少な過ぎる額であろう。

ドルが¥360から¥200になれば、約半値である。同じ割引率では日本の業者のマージンが半額になるのでお気の毒だ、と割引率を倍にしてくれる出版社などありはしない。かくて、幹の部分が細って、出版社よりのマージン部分の利益は、極度に減少するのである。

出版社よりのマージン内で経営すべし、とおっしゃった新聞の経済記者さん、どうして下さる。

外貨が弱く、円が強く指向している時には、我々はマーク・アップの率を高めなければ、必要な利益の額を確保できない。外国の出版社の中にも、この点に気が付かずに、マーク・アップが昔に比べて倍になった、などと言いがかりをつけてくる所がある。御自分の所の部分がやせ細っていることをご存知ない。発行するINVOICEは、自国の通貨の数字だけをご覧になるから、気が付かない人がいるのだろう。

マーク・アップのことを質問して来るマスコミの記者に、一度は生活水準の低い国のたとえを話すことにしている。アメリカさんが適用して下さるマージンで、その国では、洋書1冊売って、親子3人が3日食えるかも知れない。するともっと低い値段で売っても生活できる、とアメリカの本をアメリカにおける価格よりも安く売ることもあり得るだろう。その場合は、マーク・ダウンというのだろう。

要するに、マーク・アップといい、或はマーク・ダウンといっても、貿易をする業者が、その輸入国の国情に合ったマーケット・プライスを計算して、商売をしているということで、何も特別不思議なことではあるまい。

街で¥100のオレンジ・ジュースが、山小屋で高いのは、それなりの理由がある。地上では無料でサービスされる水も、山小屋では、ただではあるまい。この記者の理くつは、山小屋でも、街の値段でサービスしろ、という強要であろう。

マスコミが、マーク・アップなどを採り上げるとき、率であるとかドル当りの額であるとかを強調するが、洋

書の捌ける量を考えて頂きたいものだ。円が強くなったからといって、日本人の外国語読解力が、急に30%も強くなったわけではない。量の増加に余り希望が持てない。

マイクを向けられた読者の、「安くねば、もっと買います」という調子のいい返事が、強調されて報道されるが、洋書は牛肉のようにはいかない。

一般の読者は、洋書の値段を生鮮食糧品の値段の感覚で考えている。カバー・プライスをご覧になった読者が、その日の為替レートを掛け算して、高いとおっしゃると甚だ迷惑である。洋書は、朝、築地や秋葉原で仕入れて、夕方には売り切れるような、回転の早いものではない。もう一つ、学識経験者といわれる方でも、ご自分で買われた本の価格だけにとらわれて、洋書業者の在庫負担を理解されない。洋書店が毎日、ある程度の売上げを得るためには、相当量の在庫を置かないと、これが確得されない。

書籍は種類が非常に多く、そのために、どれもこれも回転がよく売れるというわけにはいかない。単一のガソリンの減り工合を、ケージを見て、翌日の補給量を註文するガソリン・スタンドとはわけが違う。在庫負担分の経費を、売価に織り込むのは当然である。それは、大学にも、図書館にも、学識経験者にも負担して頂かなければならない。店頭で、一般の読者に売るものだけに、その負担を集中することはできないから。

会計検査院や文部省が、この事情を理解しないで、大学の購入価格を低い一方に指導するなら、文化交流の場である店頭の洋書の種類、冊数をじり貧に追い込むことになる。悲しむべきことだ。

洋書は、昨年春から幾度も売価を下けているが、このために、つい先頃仕入れた本の原価も、かなり高いものになってくる。新旧の在庫の原価の平均価格を考える時には、洋書の回転の遅いことを、くれぐれも考慮に入れるべきである。

決算で、最後に残る純利益のパーセントが、いかに厳しいものであるかを思えば、粗略な計算は、経営を苦境に追い込むことになるのである。

来日外人名簿

- 10月上旬 Mr. Frank W. Thompson, Manager, University
of Queensland Press, St. Lucia, Australia
- " Mr. Paul Monnet, Directeur de l'Union
d'Editeurs Francaix, Paris
- 10月中旬 Mlle Chantal Pasini, Editions A. et J. Picard,
Paris
- " Mr. Arthur Godman, Author of Dictionary of
Scientific Usage (Longman)
- " Mr. Maarten Jan Israel, Antiquarian Book
Dept., M. Nijhoff, The Hague
- " Mr. Christopher Kohler, Chairman, C. C.
Kohler, U. K.
- " Mr. Anton Gerits, Head of the Department,
Dekker & Nordmann (A Division of
Elsevier), Amsterdam
- 11月中旬 Mr. Donald Traynor, Vice President: Feffer and
Simons, Inc.
- " Mr. Walentine Margorod, Area Director of the
Far East: Feffer and Simons, Inc.

通関統計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）

1978年6月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和53年6月\$14,693,000 1月以降累計\$77,500,000

昭和52年6月\$9,965,000 " \$56,295,000

（註）この統計は、CIF 価格で10万円以下の少額貨物は
含まない。

事務所移転のお知らせ

下記の通り移転通知がありましたのでお手許の会員名
簿の訂正をお願い致します。

(株) テクニコン ドキュメンツ サービス

〒162 東京都新宿区下宮比町15

飯田橋ハイタウン 306号

☎ (03) 267-7731

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います。

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262-5278

The Romance Novels of William Morris. 8vols. (George
Prior Publishers) ¥24,620

House of Commons Sessional Papers of the Eighteenth
Century (Scholarly Resources) 147vols. ... ¥4,940,000
George I & George II 20vols. ¥684,000
George III 127vols. ¥4,256,000

代表業務停止のお知らせ

Aldine Publishing Co. (米国)

Colour Library International Ltd. (英国)

Delft Univ. Press (オランダ)

Tilburg Univ. Press (オランダ)

丸 善 (株) ☎ 272-7211

Loomis, Ted A.—ESSENTIALS OF TOXICOLOGY. 3rd ed.
'78. (Lea & Febiger) 12月入荷予定 ca ¥3,370

Scarpelli, E. M. (ed.)—PULMONARY DISEASE OF THE
FETUS NEWBORN AND CHILD. '78. (Lea &
Febiger) 12月入荷予定 ca ¥14,580

Van Leunen, Mary-Claire.—A HANDBOOK FOR SCHOL-
ARS: A Complete Guide to the Mechanics of Scholarly
Writing; Citation, references, footnotes, bibliographies,
format, styling, text preparation, and all related matters.
'78. (A. A. Knopf) paper ¥1,670
cloth ¥3,630



1817

Harper & Row, Publishers, Inc., is pleased to announce the acquisition of the J.B. Lippincott Company

J.B.リピンコット社は、アメリカで最も古い出版社の一つであり、1792年
ジョージ・ワシントンの2期目の大統領のときに創設されました。

小中学校教科書、カレッジ・ブックス、医学書、一般書等で秀れた知名度
をもつ出版社です。

リピンコット社は完全にハーバーの子会社となりますが、その名前と編集
部門は、そのままフィラデルフィアに残されます。

この合併により、書籍内容は一層強化され、さらに幅広くなり、ぐんと国
際競争力をつけた会社に成長できると期待しております。

なお、関係出版社/バリンジャー、ホールマン及びニュー・ダイレクション
ズの業務もそのままひきつぎをいたします。

〈出版内容〉

- 小中学校教科書
- 大学専門書・教科書
 - ・社会科学書・自然科学書・看護学書
- 医学書
- 一般書
 - ・児童書・一般教養・啓蒙書
- 聖書・宗教書

(総発売元/代理店国内問合せ先)

- 医学書・看護学書…オークラ・サイエンス
- バリンジャー…UPS
- ニュー・ダイレクションズ…洋販

ハーバー アンド ロウ出版社 東京事務所

〒101 東京都千代田区神田神保町1-29

電話 (03)291-6343・6344

昭和53年11月 通巻第139号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329